

## 建築環境特論（学部4年生用）／環境調整工学特論（大学院生用） 2017年度・講義予定

※大学院生の受講者への注意：

「建築環境特論」の単位を学部時代にすでに取得している人は、たとえ大学院生として「環境調整工学特論」を受講しても大学院の単位にはなりません。

1. 講義時間： 夏学期・金曜・2限（10:25～12:10） 1号館11号教室

### 2. 講義プログラム

	月	日	担当教員名	所属	講義題目
	4	7	谷口景一郎	東京大学 建築学専攻	ガイダンス
	4	14	赤司泰義	東京大学 建築学専攻	ZEBについて
	4	21	前 真之	東京大学 建築学専攻	住宅の省エネと快適性
	4	28	加藤信介	東京大学 生産技術研	人の多様性を考えて環境を作る
	5	12	宮田征門	国土総合計画研究所	究極の省エネルギー建築物を設計するために必要な3つのこと
	5	19	平手小太郎	東京大学 建築学専攻	超高層建築の居住環境的問題
	5	26	坂本慎一	東京大学 生産技術研	都市の音環境／予測と制御
	6	9	柳原隆司	東京電機大学	省エネルギーと環境性能検証(コミッションング)の実際 ・晴海アイランド地区熱供給施設を例として・
	6	16	佐久間哲哉	東京大学 新領域創成	オーディトリウム音響設計の最前線
	6	23	大岡龍三	東京大学 生産技術研	都市と建築のエネルギー・環境システム
	6	30	館景士郎	(株)日建設計	(未定)
	7	7			
	7	14	菱田哲也	オートデスク(株)	

### 3. 成績判定

- ・成績の採点は、小テスト・質問シートの記述の審査により行います。期末レポートは実施しません。
- ・小テストについては、毎回教員が授業開始時にテーマを板書するので、講義をよく聞いてきちんと回答すること。
- ・全授業を通して3回以上の質問が必須とします。質問者は質問シートを受取り、内容と回答・感想を記入すること。
- ・質問は、教員の講義への理解を深め他の受講者にも有益である、授業に貢献するものであることが求められます。
- ・1人が1回の授業で質問できるのは原則1回のみ。また1回の講義での質問総数は原則10回までです。
- ・出席点はありません。単に出席点を稼ぐための出席&睡眠・内職は他の受講者の迷惑になるので控えること。

### 4. 注意事項

- ・著名で多忙な先生方にわざわざお越しいただいています。1人の社会人としての礼儀をもって真剣に聞くこと。
- ・授業中の睡眠・PC内職などの非礼な行為は厳禁です。見つけ次第、直ちに退室してもらいます。
- ・授業内容を理解し質疑が円滑に行われるよう前の席に座ること。後ろの2列の席には小テストを配布しません。
- ・遅刻者には小テストを配布しません。秘書の方が開始時に在室している人数分だけ配布します。
- ・小テストの代筆等は厳禁です。発覚した場合は厳正に対処します。
- ・質問はすればよいというものではありません。授業に貢献する的確な質問であるかが評価されます。
- ・小テストおよび質問シートは次回の授業で回覧・返却するので、自分の分を受け取り保管してください。